

2023年3月16日

「SoundUD」のプラットフォームとの連携による 多言語対応 EV バイクレンタルサービスを東京都と共同で開始

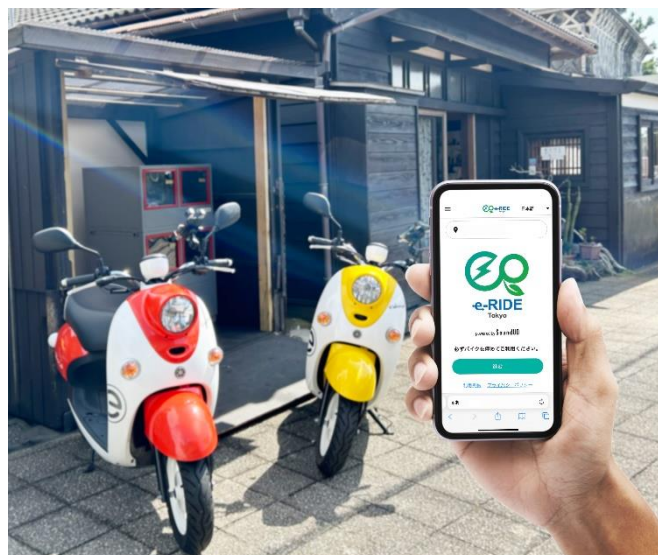
～EV バイクでいつもの街に、新しい発見を～

ヤマハ株式会社（以下、ヤマハ）は、二輪車の非ガソリン化に向けた取り組みを東京都と民間事業者が共同で行う「EV バイク等利活用促進事業」の一環として、多言語対応 EV バイクレンタルサービスを東京都および関係各社と共に3月16日（木）より東京都・代官山エリアと伊豆大島で開始します。

東京都では、CO2を排出しない環境先進都市「ゼロエミッション東京」の実現に向け、都内で新車販売される二輪車を2035年までに100%非ガソリン化することを目指しています。このたび東京都とヤマハが開始する多言語対応EVバイクレンタルサービスは、二輪車の非ガソリン化に向けた先進的取組「EVバイク等利活用促進事業」の一環として実施されるものです。

本事業の推進にあたっては、ヤマハは「音のユニバーサルデザイン化」社会の実現を目指す「SoundUD」の取り組みの一つとして SoundUD プラットフォームと連携したレンタルシステムの提供をおこないます。本システムでは、レンタル事業者とユーザーとの多言語対応コミュニケーションツール、予約サイト、ユーザーへの観光ガイドなどをワンパッケージで提供し、事業者は簡単にレンタルサービスを開始することができます。今回は、本システムを活用しながら、株式会社インター・コアが各レンタル拠点の運営事業者を通じてレンタルサービス業務を運営します。

ヤマハは、本レンタルシステムを活用して事業者が簡単にレンタル事業を開始できるようにし、より多くの人がEVバイクでの街観光を気軽に楽しめる環境づくりをサポートすることで、EVバイクの利活用の促進に貢献したいと考えています。



＜SoundUD プラットフォームと連携したレンタルシステムの特長＞



本レンタルシステムでは、レンタル事業者は店舗用タブレットを介してEV バイクレンタルの予約受付、多言語接客、利用中のユーザーからの問い合わせ対応などを一貫して行えるようになっています。

またユーザーは、店舗用タブレットから発行されるQRコードからユーザー専用サイトにアクセスし、レンタル店舗周辺の観光音声ガイドを楽しんだり、EV バイク交換用バッテリー貸出スポットの貸出状況を確認したりできるほか、店舗用タブレットとの通話機能などさまざまな機能を利用することができます。

通話機能では、ビデオ通話のほかテキストでやりとりすることもでき、自動翻訳で多言語対応しているため、言語に不安があるレンタル事業者も安心して外国人ユーザーとコミュニケーションを行えます。

- ※ 音声ガイドは停車状態でご使用ください。
- ※ 観光スポット等に立ち寄る際は、近隣のバイク駐車場をご利用ください。

<「多言語対応 EV バイクレンタルサービス」概要>

実施エリア および レンタルスポット	代官山エリア ・代官山蔦屋書店(東京都渋谷区猿楽町 17-5) 伊豆大島 ・BookTeaBed 伊豆大島(東京都大島町元町 2-3-4) ・島京梵天(とうきょうぼんてん)(東京都大島町波浮港 6 番地)
利用手順	1. 特設サイトから予約 2. レンタルスポットに来店して EV バイクとヘルメット等の備品をレンタル 3. 安全講習動画やルートマップを確認して出発 4. 観光スポットを巡って音声ガイドを楽しむ ※ レンタルには身分証明書などが必要です。詳しくは特設サイトをご覧ください
料金 (税込み)	30 分お試し 1,100 円 3 時間レンタル 2,750 円 5 時間レンタル 3,850 円 延長料金 15 分毎 550 円
レンタル車両	E-Vino(ヤマハ発動機株式会社製)
特設サイト	https://e-ridetokyo.jp/
サービス運営事業者	株式会社インター・コア

<「SoundUD」について>

当社が開発し提唱する「SoundUD」(Sound Universal Design)は、「SoundUD コンソーシアム」において 360 以上の企業や団体と共通規格化をしている「音のユニバーサルデザイン化」を実現するテクノロジーの総称です。音響通信、Bluetooth®、GPS などの複数のテクノロジーを併用した「SoundUD トリガー」を中核技術に、音のある空間と ICT 機器をつなぎ、その空間にいる利用者へのスムーズな情報・サービス提供を実現します。

- 『SoundUD コンソーシアム』公式サイト：<https://soundud.org/>

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：橋本 TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト：https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■サービスに関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 クラウドビジネス推進部 サービスプロデュースグループ

お問合せウェブフォーム：https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=30&lcl=ja_JP